

# 淡路

## 今できること

淡路JCIの思い

この島の住民として、3児の父としてこの島のために「今できること」は何かを考える良い機会を頂きました。

私はこの淡路島に生を受け、旧西淡町松帆で幼少期を過ごし、中学も高校も旧三原郡内の学校で教育を受けました。よって淡路というくくりでのさまざまな考え方はあまりしたことがありませんでした。学校を卒業し、淡路島を出て職に就き、その時初めて淡路というくくりでの考え方を、そして感じ方ができるようになったと記憶します。

私の住む南あわじ市松帆では、春を迎えるころには各地で布団たんじりがまちを練り歩き、桜の花びらが舞い散る中、ひときわその存在感が風物詩となっています。私も春はたんじりが当たり前となり、毎年その時期は、幼少時代の思い出話をさかんに、たんじり唄を歌い、まちを練り歩きます。子供のころは、自転車で見えた当たり前の景色も、今大人になって見れば全く別の景色に見えたり、小さな花のつぼみがやたらリアルに目に映ったり、徒歩

### 淡路青年会議所 畑野信行専務理事



## 子供を地域で育てる志が大切

だから見えるものを発見したりと、春は私にとってそんな季節であります。大人になって感じたことですが、子供たちが元気にまちを走り回る姿や、公園で遊ぶ姿をあまり見かけなくなりましたよにも感じます。これは、熟練したり習い事を多く抱える子供たちが、大人並みに忙しくなったこともあるで先述述べました春祭りの様子ですが、

しょう。私が子供のころは、近所のおじさんやおばさんともまじまじな会話を交わしていたように思います。他愛もない会話一つでも暖かさを感じたものです。しかし今は地域のコミュニティも少しづつではありますが、小さく少なくなっているように感じます。

まちをあげての行事やお祭り、時代は移り変わっても、長きに渡って守られてきた変わることのなかったものが、今寂しくなってきたように感じます。われわれ大人が積極的に地域の子供たちにかかわっていくこと、そして次代を担う子供たちを地域全体で育てていこうと言った気持ち、志が今最

も大切なことではないでしょうか。日本という視点での大きな見解を持つことはもちろん大切なことではありますが、まずはおのおのローカルなコミュニティを見つめ直すことから始めるべきではないでしょうか。地域が活性化すれば、おのずと日本が活性化していきます。そんなことは分かっているのですが、分かっているだけでは現況であるが故、腰を据えて取り組むことが必要不可欠であると感じる次第でございます。

子供たちが安心して暮らせるまちをつくり、次代へと継承していくことがわれわれ大人の義務であります。私は常にそれを思い考え、日々を過ごしております。われわれに今できること、小さなことから明日へ、そして輝かしい未来のために。

- .....
- ニュースのご連絡は
- 洲本支局
- 〒656-0026
- 洲本市栄町2-2-15
- (本陣ビル2階)
- 0799(22)1450
- FAX 0799(25)2125
- 姫路支局
- 〒670-0921
- 姫路市総町119
- 姫路不動産ビル内
- 079(224)5551
- FAX 079(226)3191
- 駐在
- 加古川 079(421)7520
- 豊岡支局
- 〒668-0025
- 豊岡市幸町13-20
- 0796(22)6151
- FAX 0796(29)2338
- 通信部
- 香住 0796(36)4499
- 神戸総局
- 〒650-0015
- 神戸市中央区
- 多聞通4-1-5
- 078(351)1771
- FAX 078(361)3001
- 阪神支局
- 〒662-0918
- 西宮市六湛寺町9-11
- 0798(33)5881
- FAX 0798(37)2477
- 通信部
- 尼崎 06(6421)2545
- .....